

目次

はしがき..... 1

序章 現代台湾の宗教概観..... 17

一、雑多な民衆宗教..... 17

二、齋教..... 19

(一) 居士仏教..... 19

(二) 教義と実態..... 22

(三) 先天派..... 24

三、一貫道..... 27

(一) 「邪教」扱い..... 27

(二) 布教現場..... 30

(三) 特徴的な教義..... 32

(四) 民間信仰の影響..... 35

(五) “邪教に非ず”..... 38

(六) 仏教会と“四つ相撲”..... 41

四、軒轅教..... 42

(一) 軒轅教とは..... 42

(二) 研究..... 43

(三) 民族再興の思い..... 46

(四) 無所得の犠牲..... 48

(五) 人格の完成..... 51

(六) 偉大な指針..... 53

(七) 入信・帰宗..... 56

(八) 民族宗教の基本..... 60

五、仏教..... 61

第一部 一貫道研究史と歩み..... 67

第一章 一貫道研究序説..... 68

一、はじめに..... 68

二、一貫道の源流と現況..... 71

三、一貫道の立場..... 79

- (一) 一貫道の歴史的淵源……………79
- (二) 歴史上の謀叛事件……………81
- (三) 弥勒仏の形象……………82
- (四) 一貫道の発展……………85
- (五) 一貫道と正統仏教の衝突……………86
- (六) 認識を欠いた論評……………89
- (七) 一貫道それ自体の欠陥……………91
- (八) 教義の矛盾……………94
- (九) 同情と理解を望む……………95
- 四、管見一貫道……………96
- 五、結 び……………105

第二章 一貫道の歴史……………123

- 序……………123
- 一、一貫道の歩み……………126
- (一) 始 源……………128
- (二) 道 統……………130

- (三) 道統在家に移る……………131
- (四) 張天然の神格化……………139
- 二、一貫道の歩みと仏者の見解……………147
- (一) 『暗路明燈』の所見……………147
- (二) 『暗路明燈』より一貫道教義瞥見……………160
- (三) 『暗路明燈』に拠る白蓮教観……………162
- 三、邪教の源流に関する警備総部の見解……………169
- (一) 教団発生……………169
- (二) 教団の変遷……………172
- (三) 管見 現況……………175

第二部 一貫道の構造と教義……………187

第一章 主神とその構造——主神の神的性格……………188

第二章 一貫道の教義——三教思想を背景……………200

一、教義・思想……………200

- 二、道統説……………206
- 三、三期末劫説の思想……………214
- （一）三期……………214
- （二）三天説——宇宙論……………216
- （三）三期末劫説……………222
- 四、三曹普渡論の思想……………225
- 五、三宝の一貫道的思想……………228
- （一）三宝の意義……………228
- （二）一貫道の三宝思想……………230
- 第三章 弥勒信仰——弥勒信仰の宗教……………246

第三部 一貫道の機能と儀礼……………253

- 第一章 一貫道の儀礼——構造と機能……………254
- 序 一貫道の儀礼……………254
- 一、儀礼の構造と機能……………262

- （一）発心と三宝……………263
- （二）求道の儀式……………269
- 二、一貫道の儀礼——意義と供養・焼香・献供……………288
- （一）意義……………288
- （二）各種の呼び名と意味……………289
- （三）指導者……………291
- （四）儀式……………294
- （五）行礼類別……………295

第二章 一貫道の一般儀礼……………315

- 一、献供と儀礼——宗教的機能……………315
- （一）献供……………315
- （二）献供の品……………317
- （三）献供礼の過程……………320
- 二、迎神——宗教的意義・儀礼と堂主……………323
- （一）請壇の礼……………323
- （二）迎神の儀礼と意義……………328

- (三) 壇主・信者の規則…………… 330
- (四) 儀礼の対象と種類…………… 335
- (五) 聖所と供物…………… 345
- 結 び…………… 345

第三章 飛鸞の意義・機能とその諸相

- 一、飛 鸞…………… 350
 - (一) 飛鸞と方法・諸相…………… 350
 - (二) 飛鸞の定義…………… 355
 - (三) 扶箕の由来・起原…………… 356
 - (四) 一貫道の飛鸞…………… 363
 - (五) 神と人と 飛鸞のことば…………… 367
 - (六) 箕仙の予告…………… 370
- 二、一貫道の飛鸞——機能と現況…………… 375
 - (一) 飛鸞の世界…………… 375
 - (二) 飛鸞の宗教的意義…………… 377
 - (三) 三才——宗教的機能…………… 380

- (四) 飛鸞の現況——三才の儀礼…………… 382
- (五) 訓 文…………… 390
- (六) 借竅——天才の機能…………… 391
- (七) 三才——その育成…………… 402
- (八) 神と人と——飛鸞の場合…………… 407
- 結 び…………… 411

第四章 葬礼に見る宗教的観念——古典の葬礼と宗教観

第四章 葬礼に見る宗教的観念——古典の葬礼と宗教観…………… 418

- 第五章 一貫道と道教…………… 443
 - 一、道 教…………… 443
 - 二、一貫道…………… 448
 - 三、一貫道、その先蹤・道教…………… 451
 - 結 び…………… 461

第四部 一貫道の現況…………… 467

——開禁の歩みと展望

第一章 中華聖教会

序

468

一、中華聖教会の歴史と教義

468

(一) 聖教の歩み

473

(二) 聖教の教義

485

二、聖教会の儀礼と扶乩

490

(一) 儀礼

490

(二) 基本的儀規

492

(三) 演礼

496

(四) 典礼——宗教的機能・献香と献供

499

(五) 食作法

506

(六) 法器・鳴器

508

三、聖教の扶乩・開沙

508

四、聖教の修行

523

(一) 規則Ⅱ清規

523

(二) 作業

525

(三) 生活

527

第二章 現況と展望

555

序

555

一、解禁 その歩み

562

(一) 解禁まで

565

(二) 道教会からの招納まねがひ

566

(三) 取締りの理由

566

(四) 新聞上から帰納できる結果

568

(五) 警備総部の一貫道取締りの歴史観

570

(六) 邪教と認定する規準

572

(七) 民衆を聚集することの恐怖

573

(八) 明太祖の宗教活動弾圧

574

(九) 陋習の放棄

575

(四) 対話——性の禁忌

530

(五) 道教の規則——清規

531

五、管見 聖教

534

六、結びに代えて

540

(6) 雜感—附記	576
二、一貫道の現況と展望	588
(一) 解禁	588
(二) 昨日・今日と明日	589
(三) 神秘なベールを剥ぐ	609
(四) 呉部長、秘密を洩らす	619
(五) 解禁の余波	623
結 び	688
(一) 一貫道と古典・思想	688
(二) 先蹤に敬意	692
(三) 一貫道を支える信者・民衆	696
(四) 儀礼と創始者	699
(五) 解禁をめぐる	702
結 語	704
附図二葉	711
初出一覧	714
あとがき	716
索引	7